

## 《《《 総合平均点はわずかに上昇！～共通テスト概況～ 》》》

文系5教科総合 全国平均 駿台ベネッセ予測-536点 河合塾予測-536点

理系5教科総合 全国平均 駿台ベネッセ予測-559点 河合塾予測-556点

【参考までに、多くの試験で基準になるのは60%～70%の得点率。例えば多くの高校生が受験している英語検定も、合格ラインは得点率65%。共通テストなら585点！】

4年目となる今年の共通テストの平均はほぼ6割。昨年の理科のような得点調整もなく、900点満点の平均はわずかに上昇しました(昨年比:ベネッセ予測文系+4点・理系+8点:河合塾予測文系+6点・理系+8点)。それにより、中間層から上位層への分布が少し厚くない、強気の出願増加の様相を呈しています。したがって、各大学の合格可能性判定は昨年同様の水準となりそうですが、平均点やボーダー付近の受験生は今後の取り組みがいつも以上に重要になるでしょう。逆に、学問系統にもよりますが、18歳人口の減少とともに地方の大学は関東圏と比べてかなり入りやすくなっています。が、受験生の動向は流動的。冷静な判断と初志貫徹のバランスが肝要です。私大については、相変わらず首都圏中心に中堅以上の難化傾向は変わりません。最低2つの得意教科を持たないと難関突破は困難です。

ここで大切なのは、予想はあくまで予想。志望実現のためにどっしり構えて取り組む姿勢が重要です。数字は、今の自分の力を冷静に、そして謙虚にとらえるための尺度に過ぎません。数字に惑わされて自分を見失ってはいけないのです。

## ☆☆☆☆☆ 水面下の戦いは続く。がんばれ3年生！ ☆☆☆☆☆

～さあ、これからが勝負。あきらめないで、突き進め！～

すでに一般入試の始まっている私大もある。しかし、2月・3月の入試本番、特に国公立大学前期試験の始まる2月25日頃まで、まだまだ時間があることを忘れてはいけない。

正規の授業は1月で終わりだが、2月の自宅学習期間に入っても、毎日特別講座が続く。小論文や面接・実技の個別指導もある。多くの先輩が、この最後の粘りで合格を勝ち取ってきた。3月1日の卒業式の後も、国公立後期試験まで、あるいは私大の3月試験まで、目標目指してがんばり続ける。そして、カメのように一步一步、着実に一生懸命歩いてゴールにたどり着くのだ！



## 「学而の約束」を心に留めて



～3年生はおそらく「最後の進路だより」なので～！

コロナ禍に見舞われ、最後の年に日常が戻ってきたとはいえ、多くの3年生は、終始進路選択に悩み、先々の不安を抱えながら過ごしてきたことと思います。そして、卒業式を1か月後に控えた今も、戦い続ける仲間たちがいます。そこで…大切なことを確認しておきます。

おそらく、進路の決まった人もまだの人も、今は目先のことで頭がいっぱいになっていることでしょう。こんな時こそ、みんなには、本当に大切なことを忘れない、広い視野を持った生き方を望みたいと思います。

1 自分のことばかり考えないこと + 2 思いやりの気持ちを持つこと

+ 3 いつも前向きな気持ちでいること = 4 笑顔を忘れないこと

毎年進路だより第1号に示す「学而の約束」です。1・2・3を心がけると自然と4に到達します。この約束を人生のどの段階でも、さらには日常生活の中で心がけることによって、本来、私たち全員が目標とすべき「世界の平和と人類の幸福に貢献する」生き方に近づけるはずです。会津高校で身につけた力を生かして社会貢献するためには、心からの「笑顔」を添えることが大切。「志望校に合格した」「資格を取得した」そして「就職が決まった」ことが本当に意義あるものになるように、みんなが「学而の約束」を末永く守り続けてくれるよう心から願っています。

## 下級生も「戦い」は始まっている。

～第一志望合格のための準備と努力を怠るな！～

さて、1・2年生。入試はまだ先のこと、などとタカをくくっていないだろうか。先輩たちの中で一番苦勞しているのは、1・2年前にそういう意識でいた人たちだ。もちろん、それでもそれなりの結果を出す人間はいるが、それは“minority”だ。

誰でもその場にならないとわからないことはある。むしろ、そういうことの方が多い。しかし、人生の先輩の聲に耳を傾けて、今から準備できることはあるのだ。

○自分の志望大学・学部は明確か？こだわりはあるか？どんな人生につながる？

●その志望はどういうレベル？試験科目は何？満点は？何点とれば合格？どんな問題？

**ここは要注意！来年の入試から共通テストの科目名と範囲・試験時間が大きく変わる。特に地歴公民、そして数学、情報、国語。**

**現2年生は新たな科目選択初年度を経験することになる。**

**先生の説明、情報チェックと対策を怠らないこと！！ >>>>>【超重要】**

○得意科目はあるか？得意科目でカバーできないような不得意科目はないか？

○部活動を終えた後で取り返せないようなレベルまで落ち込んでいないか？

○家族と話してるか？お金がいくらかかるか知ってるか？浪人できるのか？

まだまだある。そして何よりの準備はしっかり点を取ること。「点数は人間のレベルを決めることはできないが、人生の方向性を大きく左右する力を持っている」からだ。単純に自分の好きなこと、楽なことに走って人生の選択の準備を怠るな。

真に高校生活を楽しむためには、「主体的に準備をし、勉強もその他の活動もすべて豊かな人生の肥やしにする」という考え方を持つことが必要だ。

## 恒例・早めの受験対策に…過去問のススメ

《1・2年生へ。受験対策の必需品－赤本(あかほん)－を紹介します。》

3年生にはもうおなじみの「赤本」。これは教学社発行の「大学入試シリーズ・過去問と対策」の通称です。いわゆる入試過去問集。この「赤本」、大学受験対策には欠かせません。書店で購入できますが、主な大学は進路指導室に過去10年分程度そろっています。今回はまだ触れたことのない、また、活用法がよくわからないみなさんのために、「赤本」をひも解いてみましょう。志望大学への思いが強いほど、その分、早めに触れてレベルを感じておくのは必須です。

(例) **2024年版赤本 新潟大学 教育<理系>・理・医<看護>・歯・工・農** の場合

【基本情報・学部学科・所在地】

【入試データ】過去数年の定員・志願者数・競争率・募集要項入手方法など。

【合格体験記】Q&Aや科目別攻略アドバイスも。

【傾向と対策】ここからがメイン。入試科目ごとに過去4年分の出題内容や範囲が一覧に。

続いて「傾向」と「対策」が詳しく説明されている。勝負事に相手の研究は必須。

ただ自分のペースを守ってもなかなか勝てない。

【問題と解答】2023年度前期の問題と解答解説(後期は面接・小論等で掲載せず)・2022年度前期の問題と

解答解説という順で2020年度までページが連なる。2023年版なら、さらに一年前の2019

年度の問題と解答解説まで掲載されている。



現在、進路室には2015年版以降の赤本があり、すべて1週間程度の期間単位で貸出している。みんなが志望するであろう、主な国立大・私立大はほぼそろっている。下級生は志望先の大学をより深く知るために、上級生なら問題の傾向とレベルを把握して実践的な受験対策に、積極的活用をオススメします。さらに、ターゲットが絞れている人は書店で購入して「My赤本」を手に入れよう！